国際通りを歩行者に開放

トランジットマイル　社会実験

中心市街地の活性化に向けて、公共交通を除いた車両を規制し、通りを歩行者に開放する試み「那覇市国際通りトランジットマイル社会実験」（同実行委員会主催）が、去る11月21日（金）から3日間連続で行われました。

歩行者天国に変身した国際通りの路上をキャンバスに絵を描く子どもたち（上）と、トランジットマイルにお目見えしたチャリタク（自転車タクシー）。前方が客席のため視野が広く、観光には最適

3回目となった今回の社会実験は、平日を含む3日間、午後2時から8時までという、平日、日没後とも初の試みとなりました。

21日と22日は、あいにくの雨模様にもかかわらず傘を手にした親子連れなどが通りに繰り出し、車両が排除された国際通りをゆっくりと散策する姿が見られました。

好天にめぐまれた最終日の23日は、日曜日ということもあって、おおぜいの家族連れや若者たち、観光客が国際通りの1マイルを埋め尽くしました。

モノレール開通後に行われた今回の実験は、モノレール駅と、100円という割安のトランジットバスが連結されたこともあってか、3日間で約7万5千人の人々が歩行者天国を楽しみました。

アスファルトにチョークで思い思いの絵を描く子どもたち。通りのあちらこちらで行われたストリートパフォーマンスに見入る人垣。ペットといっしょに日向ぼっこを楽しむお年寄り。ベビーカーを押しながら談笑する若い夫婦。

通りに繰り出したドイツ生まれのベロタクシーやチャリタクと呼ばれる自転車タクシー。まるで国際通りいっぱいにしあわせ色の花が咲き乱れたような、ほのぼのとした光景が広がりました。

人に優しいまち・歩いて楽しいまちに

とはいっても、国際通りを歩行者にとっての快適空間にするには、まだまだ課題がありそうです。通りに面した各商店主のみなさんにとっては、商品の搬入・荷さばきの問題、はたして車なしで歩いて買い物に来てくれるだろうかという不安、それらがすべて解消されたわけではありません。

モノレール駅とトランジットバスの連結にしても、もっ少しスムーズで使いやすくならないだろうかという要望も出てくることでしょう。私たち市民の一人ひとりが、もっと快適で「人に優しいまち・歩いて楽しいまち」の実現に向けた具体的な提案をしていくなかから、きっと近い将来、誰にでも誇れるような夢のような中心市街地が誕生することでしょう。

路上いっぱいに人垣をつくり、ストリートパフォーマンスに見入る人々

市立病院が医療機能評価の認定を受ける
質の高い医療とサービスの向上を

那覇市立病院が、(財)日本医療機能評価機構による病院機能の認定を受けました。これは、市立病院が地域において適切に機能し、患者の権利と安全が守られていることを、第三者の目で評価したものです。

市立病院では、審査を受けるうえで、さまざまな改善がなされました。患者さんの療養環境やプライバシーを守る面から、院内放送による患者さんの呼び出しを最小限にし、来院したすべての方から意見や要望が伺えるよう、フロアごとに投書箱を設置しました。また、ナースステーションには、各病棟担当の全看護師の名前が写真付きで紹介され、さらに患者さんが療養する部屋には、担当看護師のネームプレートを掲示するなど安心して治療に専念できるよう配慮しています。

市立病院では、地域のみなさんと一緒になって病院の方針を考え、病気の治療を患者さんとともに努めるなどの「病院の理念」や「患者の権利」を院内に掲示し、来院したすべての方に高度で良質な医療を提供することをお約束しています。

今後も、市民のみなさんの健康を守る地域医療に貢献できるよう取り組みます。

日本医療機能評価機構の認定証を手にする與儀院長（右から二人目）と翁長市長

院長みずから病棟を巡視し、患者のプライバシーの保護やトイレなどの衛生面のチェック、ネームプレート有無のチェックを行っています

大道のまちづくり ～IT社会へ向けて～

広報なは市民特派員　宮道 喜一

昨年5月から大道小学校区を対象に、コミュニティいきいきプロジェクトという試みが行われています。3年間実施される新しい試みで、NPO地域協働クリエイトスタディチームが那覇市から事業を受託しています。

地域の皆さんが困っていること、地域でやってみたいことなどを、様々な活動をする人たちや行政、会社などにつなぎながら、地域の皆さんが自分たちの思いを実現していけるよう支援させていただきます。

昨年5月1日より、コミュニティいきいきサロンを大道公民館の横をお借りして、毎週火曜日から土曜日午前10時から午後6時までオープンしています。

現在、栄町市場商店街のシャッターペイントプロジェクトや公衆トイレ改修ワークショップなどを行っています。

また、栄町市場商店街では私たちも協力してe-まちづくり事業が展開されています。この事業は1月末までに商店街にパソコンを敷設し、本格的なインターネット社会へ向けて、双方向のコミュニケーションサービスの新たな可能性を探る実証実験です。ぜひ、栄町市場商店街で体験してみてください。

NPO地域協働クリエイトスタディチーム（LCCST）事務所　コミュニティいきいきサロン（大道公民館内）
那覇市字大道132番地
☎&FAX 884-2388
lccst@nirai.ne.jp

新入学のご案内

詳しくは、就学通知書（1月下旬発送のハガキ）をお読みください

◆平成16年度の新入学対象児童・生徒
小学生　平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれ
中学生　平成3年4月2日～平成4年4月1日生まれ
※入学説明会については、各指定校までお問い合わせ下さい。

◆指定校変更について
那覇市教育委員会では次のような場合、保護者からの申し立てで、指定校を変更することができます

理　由	対象学年	許可期限
市内間転居（学年途中で転居し通学に支障がない場合）	小学校全学年	小学校卒業まで
	中学校全学年	中学校卒業まで
転居予定	全学年	予定日まで（概ね6ヵ月）
留守家庭	小学校全学年	小学校卒業まで（勤務・預かり証明書が必要）
心身的理由（心身の故障等で指定校への通学に支障がある場合）	全学年	当該原因が存する期間（医師の証明書が必要）
指定校変更許可地域	全学年	卒業まで
兄弟関係	全学年	卒業まで
その他（指定校への通学が他に比べて著しく負担になると客観的に予測される場合）	全学年	理由が存する期間（理由を証明する書類等が必要）

指定校変更の受付は、平成16年2月2日（月）より始まります。
詳しくは下記までお問い合わせください。
那覇市教育委員会　学務課　学事係☎832-4167（内線147）

入札資格登録申請の受付

平成16年度の那覇市庁舎等清掃業務又は警備業務委託指名競争入札に参加する資格を得るために必要な条件です。
入札参加希望者は、申請書類を管財課へ提出してください。
なお、平成15年度に登録した方は今回登録する必要はありません。
受付期間　平成16年1月19日（月）～1月23日（金）午前9時～午後4時（正午～午後1時を除く）
申請書類は、管財課で配付します。　管財課（本庁6階）☎862-9904

乳幼児医療費助成の対象年齢が拡大されます

3歳～6歳（6歳の誕生日月末日まで）の入院・食事療養費が対象となります。平成16年1月診療分を2月から受け付けいたします。
※すでに3歳になられたお子さんは「乳幼児医療費受給資格者証」の交付申請が必要です。

◆対象者
・3歳の誕生日の翌月から6歳の誕生日の月末日まで
・那覇市に乳幼児の住所があること

◆手続きに必要なもの
・健康保険証（乳幼児の氏名が記入されていること）
・保護者の預金通帳
（郵便局以外で、名義人は保険証の世帯主）
・印かん

お問い合わせ
こども課乳幼児医療係☎867-0111（内線2599・2523）

那覇市物品購入の入札参加資格審査申請書を受付ます。

平成16・17年度において、市が行う物品の購入、請負、製造、その他の契約（工事を除く）及び不用品売却
申請書配付　平成16年1月15日（木）から管財課で配付
※市のホームページからもダウンロードできます
受付期間　平成16年1月22日（木）～平成16年2月10日（火）
詳しいお問い合わせは　管財課　☎862-9904

市では屋上緑化工事費の一部を助成しています。☎951-3225 花とみどり課